

中濃農林事務所の普及活動状況 令和5年8月25日現在

ぎふ農業・農村を支える人材育成

■JAめぐみの就農塾 第4回夏秋なすコース

8月3日、JAめぐみの実証圃場において、就農塾（夏秋なすコース）が開催された。

今回は、前回講義に引き続き、収穫、切り戻し剪定についての研修を行った。JAめぐみの、農業普及課が講師となり、作業のコツや注意事項について説明を行った。また、JAめぐみの下有知なす選果場を見学し、基準に基づいた選果方法や出荷の荷造りの様子を学んだ。

農業普及課では、今後も就農塾支援を継続して、受講生のスムーズな新規就農を支援していく。
(地域支援係)



【収穫、剪定作業】

安心で身近な「ぎふの食」づくり

■いちご 通常総会・ぎふ清流GAP研修会

中濃いちご生産組合は、8月4日に第29回通常総会を開催した。令和4年度は、前年度に問題となった出荷期間中の中休み（出荷の少ない期間）がなく、期間を通して順調な出荷ができたことから、出荷量は前年対比111%に増加した。

総会前には、農薬メーカーによる天敵の活用に関する研修会、農業普及課によるぎふ清流GAPの取り組みについて研修会を開催した。

ぎふ清流GAPの各項目について、まず理解できているが実践できていない項目を把握すること、その項目に取り組むことが自分の経営に必要なかどうかの判断と実践するための方法について説明した。

農業普及課では、GAPの取り組みによるメリットを実感してもらうため、継続的な支援を実施していく。
(地域支援係)



【総会】

■水稻（採種） 出穂期調査

農業普及課では、水稻採種ほ場の生育状況を確認するため、毎年、中濃管内で作付けされている5品種の出穂期を調査し、水稻種子生産者やJAめぐみのと情報共有している。

「あきさかり」は7月31日（過去3年平均より1日早い）に、「ほしじるし」は8月5日（同3日早い）、「モチミノリ」は8月13日（同±0日）、「みのにしき」は8月17日（同2日早い）、「ハツシモ岐阜SL」は8月26日（同1日早い）となり、高温傾向の中、平年並み～やや早い出穂期となった。

農業普及課では、今後は、青刈率の調査や積算温度データから、刈取り適期を予測するなどし、関係機関と連携して、水稻優良種子の確保に向けて現地指導を行っていく。
(地域支援係)

■水稻（採種） ほ場審査

水稻採種ほ場のほ場審査が始まり、農業経営課、郡上・可茂農林事務所等からも種子審査員を派遣いただき、美濃市、JAめぐみの、全農岐阜、岐阜県米麦改良協会等関係機関の協力を得ながら実施している。

8月4日は「あきさかり」、10日は「ほしじるし」、18日は「ほしじるし」「モチミノリ」、25日は「みのにしき」「ハツシモ岐阜SL」の出穂期審査を、24日は「あきさかり」の糊熟期審査を行い、審査基準に基づき、変種・異品種混入、病虫害や雑草の発生状況を審査した。一部ほ場で雑草の発生がみられたが、ほとんどのほ場は生育がよく揃い、生産者の管理が行き届いていることが伺えた。

農業普及課では、ほ場審査を適切に実施し、水稻優良種子の確保につなげていく。

(地域支援係)



【審査ほ場】